

# かながわ・岳人の集い2.19

2011年 海外登山研究・報告会



エベレスト(チョモランマ)8848m

## 講演内容

西ネパール研究のスペシャリスト 大西 保 氏

「河口慧海の辿った道と西ネパール(ドルポ)の高峰紹介」

ヒマラヤ天気予報のエキスパート 猪熊隆之 氏

「ヒマラヤの最新気象情報」

世界7大陸最高峰サミッタ 宮守健太 氏

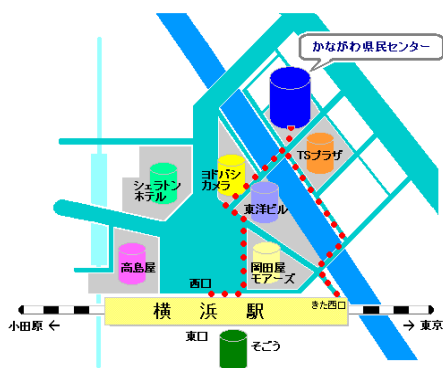
「世界7大陸の最高峰を訪ねて」

日時：平成23年2月19日(土)14:00~18:45 開場 14:15

場所：神奈川県民活動サポートセンター 2F大ホール(客席数260)

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町24-2-2

電話 045-312-1121(代表)



交通：「横浜駅」西口・きた西口を出て、徒歩およそ5分

入場：会費1000円 高校生500円 ※当日受付

主催：神奈川県山岳連盟 海外登山委員会

後援：(社)日本山岳協会・(財)神奈川県体育協会

県立山岳スポーツセンター

NPO北丹沢山岳センター

協賛：ICI石井スポーツ・カモシカスポーツ・好日山荘

(株)ヴァーテックス

問い合わせ先：神奈川県山岳連盟 事務局 045-531-9063 菊池方

## 講演者のプロフィール

### 大西 保(おおにしたもつ)



1942年生れ、大阪市出身、大阪府大阪狭山市在住、1960年代から途切れのない海外登山を50年近く続ける。北西ネパールの研究、踏査の第一人者であり登山家としても日本人には珍しく広範囲にヒマラヤを登っている。チベットの山々の同定に関してはこの世界のトップの一人。遠征はもとよりライト・エクスペディションの回数も多く、老若男女を問わずヒマラヤを目指す者には素晴らしいアドバイザー。貴重な山岳図書の収集家でもある。世界の山々に挑戦、最近では西チベット奥地の調査にも意欲

所属:大阪山の会会員、日本山岳会会員、日本ヒマラヤ協会会員、ヒマラヤンクラブ会員(インド)、日本ネパール協会会員

### 猪熊隆之(いのくまたかゆき)



新潟県生まれ。山岳と海洋気象の専門社、株式会社メテオテック・ラボ所属 山岳気象担当。国内・海外での豊富な登山経験を生かし、登山者の観点から捉えた天気予報をインターネットや衛星電話を活用して24時間体制で発信している。特にヒマラヤの天気予報は信頼が厚く、アルピニスト、竹内洋岳氏の8,000m峰登頂やエベレストの登山隊に貢献。その予報精度と的確なアドバイスは、国内外の山岳エキスパートから高く評価されている。

### 宮守健太(みやもりけんた)



1982年神奈川県生まれ 2000年4月神奈川大学体育会山岳部入部と同時に単独大学による【セブンスミッツへ制覇】に参画。2003年1月南米大陸最高峰アコンカグア(6,962m)に始まり・エルブルース(5,642m)・コジウスコ(2,228m)・キリマンジャロ(5,895m)・マッキンリー(デナリ6,194m)登頂

そして2009年5月チョモランマ(エベレスト8,848m)登頂は24時間に及ぶ登攀生死の狭間をさ迷う事6時間 真っ暗闇の奈落の底からの奇跡の生還。身体も精神もボロボロ状態での帰還。同年12月南極ビンソン・マシフ(4,985m)登頂。あしか

け10年によるセブンスミッツ制覇の足跡はおおよそ165,000キロ、地球4周分にもなります。今後も「グレートサミッツ」・「ジャイアンツ」等地球規模での活躍